

SDGsコーディネーター募集要項

1 活動内容

(1)「SDGsコーディネーター」とは

企業や団体のSDGs活動を応援するとともに、組織やセクターを超えてそれらを「つなげる」ことでビジネス化するなど、地域活性化の新たな取組みを生み出していくお仕事です。

福井県内には、SDGsの理念に基づく持続可能な地域づくりに取り組むことを宣言し、県に登録している企業・団体等(ふくいSDGsパートナー※)が約1400社・団体あります(令和8年4月1日現在)。「SDGsコーディネーター」には、これらの企業・団体等を訪問し、ネットワークを構築して、その中核人材になっていただくことで、さらなる活動を引き出していただくとともに、マッチングや企業・団体同士の対話の場をつくり、連携・協働を促進していただきたいと考えています。

「ふくいSDGsパートナー」の皆さんや県未来戦略課の担当者等とともに、福井県全域をフィールドに活動していただける仲間を募集します。

※ ふくいSDGsパートナーについて、詳しくは福井県のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/sdgs/sdgs-partner.html>

(2)具体的な活動

○ 連携のニーズとシーズ、連携して取り組むべき課題を発掘する

「ふくいSDGsパートナー」登録企業等を訪問し、話を聴く中で、連携の希望や連携につながるような技術やノウハウ等を把握します。また、市町や団体からも話を聴き、パートナーが連携して取り組むべき地域の課題を発掘します。

○ 企業・団体等の取組みを発信するほか、人材育成や意識醸成を図る

「ふくいSDGsパートナー」の訪問によって得られた情報を、効果的なPR方法を用いて広く発信します。また、小学校や中学校、高校等の教育機関に訪問して出前授業を行い、SDGsの理念に沿った人材を育成し意識醸成を図ります。

○ 連携を提案・サポートする

「ふくいSDGsパートナー」の訪問で得られた情報などから、双方のビジネス(活動)の発展や地域課題の解決につながるマッチングを実施し、事業化のサポートするほか、パートナー企業・団体同士の「対話の場」としてワークショップ等を企画・運営します。また、「ふくいSDGsパートナー」登録企業に対して、「ふくいSDGsポータルサイト」への登録や各社の課題・イベント記事の掲載を呼びかけ、企業・団体同士のマッチングを促進し、新しいプロジェクトのきっかけづくりを行います。

※ふくいSDGsポータルサイトはこちらのホームページをご覧ください。

<https://fukui-sdgs.jp/>

○ SDGsの相談窓口となる

パートナー企業・団体等からSDGsの取組みに関する相談を受け、関係機関や県、市町の担当課とのつなぎ役になります。

※今回、「SDGsコーディネーター」として2名の地域おこし協力隊を任用する予定ですので、2人で担当エリアの割り振りをしたり、それぞれの得意分野を生かしてメインで担当する業務を分担したりしながら、協力して活動を進めていただきたいと考えています。また、未来戦略課で実施するその他のSDGs推進に係る業務をお手伝いいただくこともあります。

(3)活動の例

○ 事例1:繊維王国福井におけるサーキュラーエコノミー事業展開(阿部コーディネーターの場合)

繊維業界の世界的問題である大量廃棄に目を向け、日本最大級の繊維産地・福井県から循環型商品とライフスタイルを提案するプロジェクト「ぐるぐるふくい」を立ち上げる。福井県・福井大学・衣食住に関する県内企業及びアーバンリサーチ・クルックオルタナティブ社で実行委員会を発足し、イベント「ぐるぐるふくい2024」を駅前商店街で実行した。その後は「市場連携」を強く意識し福井(産地)と東京(市場)を繋ぐために数々のイベントへの参加や、原宿ハラカドのサスティナブルイベントやテレビ局主催のSDGs イベントでワークショップを行いながら福井県のSDGsの取組みや産地技術をPRする。また、令和7年度環境省「循環型ビジネスモデル実証事業」の採択を受け、県内企業から出る繊維廃材の再資源化を試み「混紡糸」を開発する。廃材由来糸を他産地独自の高度繊維技術と連携し<先進的なマテリアルリサイクルモデル>を構築し、福井発の再生ブランド創出を目指している。

○ 事例2:食品残渣の利活用(白石コーディネーターの場合)

SDGsパートナー企業の100社以上のヒアリングをもとに、課題解決に向けたマッチングを推進。1例を上げると電力会社×農林高校のマッチングで、水力発電所で発生する落ち葉流木を腐葉土として活用。食に関する知見や人脈を活かして、食品残渣問題に取り組む。福井県産甘えびの頭と殻の廃棄ロス削減関連では、パウダーの消費量拡大に向けた料理レシピコンテストを開催し、飲食店でのメニュー化も実現。同時にパウダーの首都圏への販路開拓も支援。また、高校生とともに県産甘えびの頭と殻を活用し商品開発した「海老油」を、大阪・関西万博のイベントと県内の道の駅等で販売した。酒粕の活用においては家庭需要喚起の料理教室の開催と酒粕を使用した商品開発を目的としたレシピコンテストを開催し、コンテストにおける優秀作品の商品化を目指し、奮闘中。コーディネーターの活動終了後は、自身で「海老油」の製造・販売をしていく予定で、現在準備中。

○ 事例3:嶺南地域のSDGs活性化(徳川コーディネーターの場合)

主に福井県の南側にあたる嶺南エリアを中心に、SDGsパートナー企業・団体等を訪問。ブルーカーボン創出を目指す製造業の企業と大学、持続可能な観光業と地域内経済循環の促進を目指す観光協会と民間宿泊事業者など、ニーズとシーズのマッチングと協働をサポート。2025年には地域での環境アクション推進・啓発を行うSDGsパートナー同士のマッチングを機に、アースデイ若狭実行委員会の発足に携わる。「アースデイ若狭2025」のイベント開催においては、SDGsパートナー企業の出店と交流を促すと同時に、実行委員会の事務局としても活動。また、嶺北と比較して異業種交流の機会が少ない嶺南においては、気軽に多様な人と繋がれる場づくりが必要と考え、毎回SDGsに関わるテーマを設定してゲストトークと交流を行う「ふくいSDGs“WEAK TIES BASE”」を主催。SDGs及び各回のテーマを共通の関心事とし、立場や業界を越えた繋がりを生む場づくりに尽力。

.....

事例1～3としてあげたのは、令和5年度採用の「SDGsコーディネーター」の皆さんが取り組んでこられた、「ふくいSDGsパートナー」同士の連携を促した例です。令和8年度採用の「SDGsコーディネーター」の皆さんにも、ぜひ、企業・団体から収集した情報を活用して積極的に連携を生み出していただくとともに、情報発信や「対話の場」づくりを通して様々な連携を生み出していきたいと考えています。

2 活動イメージ

○1年目

- ・福井県とSDGsに取り組む企業・団体等について知るため、「ふくいSDGsパートナー」を訪問し、顔の見える関係を作っていきます。着任当初は、先輩隊員からアドバイスやフォローをしていただく予定です。
- ・パートナー訪問の中で聞き取った、連携につながるようなネタ(抱えている課題や連携の希望、独自の技術やノウハウ等)をストックし、チームのメンバーと共有し、SNSなどで発信していきます。
- ・ストックしたネタの中から、チームメンバーとも相談しながら、地域の課題解決につながるテーマ(例:子どもの貧困、フードロス削減等)を選定。「ふくいSDGsパートナー」の中から有志を募ってワークショップを開催するなど、課題解決に向けたアイデア出しや連携のきっかけづくりを行います。
- ・上記の活動の傍ら、SDGsについて学び、SDGsに関する資格を取得していただく予定ですので、最初からSDGsに関する専門知識を持っている必要はありません。

○2～3年目

- ・パートナーの訪問を続ける中で連携につながるネタのストックを増やししながら、情報発信やワークショップの企画運営を継続していただきます。
- ・マッチングを実施した案件やワークショップを行った案件については、具体的な連携が実現するためのサポートや取組みのフォローアップをお願いします。
- ・特に、地域課題の解決につながるような連携が実現した場合は、取組みが持続可能なものとなるよう、ビジネスモデルの構築に向けた支援を行っていただくことを期待します。

○活動終了後

- ・パートナーの連携によって生まれた新しい事業のアイデアをご自身の手で実現したい場合、ソーシャルビジネスを起業するという道も考えられます。
- ・また、ご縁の深まったパートナー登録企業に専門人材として就職する道も考えられます。

【参考①】SDGsコーディネーター募集の背景と福井県の取組み

福井県では、2040年に向けた「福井県長期ビジョン(※1)」を令和2年7月に策定し、SDGsの理念に沿った持続可能な社会の実現を目指しています。同年8月には、SDGs推進のための官民連携プラットフォーム「福井県SDGsパートナーシップ会議(※2)」を創設。企業や団体、教育機関、自治体など、多様な主体が「ふくいSDGsパートナー」として県に登録し、参画できる仕組みをつくりました。また、令和3年5月には、SDGsの達成に向けて優れた取組みを行う自治体として内閣府「SDGs未来都市(※3)」にも選定されています。このような中で、福井県では、「ふくいSDGsパートナー」同士の連携・協働を促進することにより、持続可能な地域づくりに向けた課題解決の取組みを行っていきたいと考えています。

(※1)福井県長期ビジョンについて <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/vision2019/top.html>

(※2)パートナーシップ会議について <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/sdgs/sdgs-partner.html>

(※3)未来都市への選定について <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/sdgs/sdgs-mirai-city.html>

【参考②】未来戦略課とは

福井県庁の未来戦略課は、県庁7階にあります。職員の数、21名(R8.4月現在)。SDGsの推進以外に、主な業務内容として以下のようながあり、新しい政策を企画するほか、部局を横断する業務の調整を担当しています。

○福井県長期ビジョンに関すること …2040年に目指す福井の姿を描いた長期ビジョンの実現に向けて、県庁内での推進を図るとともに、県民の皆さんへの周知活動なども実施しています。

他にも ○地方創生・人口減少対策戦略に関すること ○国への提案・要望に関すること

○幸福実感・ウェルビーイングに関すること ○民間企業との包括連携に関すること 等を担当

※未来戦略課について、詳しくは <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/seiki/index.html>

3 募集人数

2名

4 応募資格

次の要件をすべて満たす方とします。

- (1) 総務省『地域おこし協力隊推進要綱』の第3(1)④に規定されている地域要件を満たすことができる方で、採用後、生活拠点を福井県内に移し、住民票を異動できる者。
- (2) 令和8年4月1日時点で満18歳以上の方
- (3) 基本的なパソコン操作(ワード、エクセル等)ができ、かつ、インターネットを利用した情報発信ができる方
- (4) 普通自動車免許を有する方、または活動開始までに取得予定の方
- (5) 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない方

5 求める人物像

以下の項目に沿う方をSDGsコーディネーターとして募集します。応募の際は以下の項目にご留意の上、「福井県SDGsコーディネーター応募用紙」をご記入ください。

- ・SDGsに関連した産業分野に関する知識や技術、人脈等が豊富で、地域課題のプロジェクト化やパートナーへの提案ができ、マネジメント能力に長けている方
- ・人の話をしっかりと聴き、行政内部をはじめ民間企業や教育機関、地域住民など、領域をまたいで多様な立場の人との良好なコミュニケーションをとることができる方
- ・ビジネスの手法による地域課題解決への高い関心と意欲のある方
- ・新しいことや困難な課題にも挑戦する積極性のある方
- ・SDGsが包摂する環境、人権、経済など、幅広い分野に対して興味・関心を持っている方

6 活動に有効と思われるスキル(必須ではありません)

- ・企業や団体等での勤務経験がある方(特にプロジェクトの立上げや運営等の経験を有する方)
- ・インターネットを利用した情報発信(Facebook、Instagram等)が得意な方
- ・イベントやワークショップ等でのファシリテーションができる方

7 身分および委嘱期間

(1)身分

「SDGsコーディネーター」の業務を実施する地域おこし協力隊として、福井県知事が委嘱します。
(福井県と業務委託契約を締結していただきます。福井県との雇用関係はありません。)

(2)委嘱期間

委嘱日から令和9年3月31日まで

※委嘱の開始日については、内定者と協議の上決定します。

※所定の審査を経て、最初の委嘱日から通算して3年まで延長することができます。

※隊員としてふさわしくないと判断した場合は、委嘱期間中であっても業務委託契約を解除
できることとします。

8 待遇等

(1)活動日数

年間の活動日数は180日(目安として月15日を12か月)を上限とし、初年度は採用日から年
度末までの日数に応じて調整します。

(2)活動時間

1日の活動時間は概ね8時間を基本とします。ただし、活動内容等により時間等を調整できる
ものとします。

(3)報酬・活動経費

報酬	月 333,300 円(月 15日勤務の場合) ※毎月の活動状況を確認の上支給します。
活動経費	活動に必要な経費等は予算の範囲内で県から支給します。 【活動経費として対象となるもの(例)】 ・委嘱期間中の住居に係る家賃(上限月 28,000 円) ・事業に係る自動車の燃料費、リース費(上限月 22,000 円) ・作業道具、書籍、消耗品等に要する経費 ・事業に係る損害保険・賠償責任保険料 (ただし、国民健康保険料や国民年金保険料等は自己負担) ・研修等に要する経費 【活動経費として対象とならないもの(例)】 ・事業収入を伴う経費 ・土地、建物の購入費 ・高額な物品(備品)購入費 ・その他、個人の資産となる経費

(4)勤務地

勤務場所は自宅でのリモートワークが中心となります。また、県内全域をフィールドとして活
動していただくほか、県外出張をしていただく場合もあります。必要に応じて県庁で対面また
はリモートでの打合せ等を行います。

(5)副業・兼業

SDGsコーディネーターの業務に支障がない範囲で可能です。

既に副業をされている方、会社経営をされている方も歓迎いたします。

(6)その他

- ①雇用保険には加入しません。健康保険、年金保険等は御自身でご加入ください。
- ②業務活動以外の経費(引越しや生活用品、住居の光熱水費等)は自己負担になります。

9 応募方法

(1)受付期間

令和8年5月15日(金)～6月30日(火)【必着】

(2)提出書類

次の①～④の書類を郵送または以下の URL にアクセスし、福井県電子申請サービス（インターネット）によりご提出ください。なお、提出された書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

電子申請サービス：<https://shinsei.e-fukui.lg.jp/GLmfl5kA>

- ① SDGsコーディネーター応募用紙
- ② 履歴書
- ③ 住民票の写し(令和8年4月1日以降に発行したもの)
- ④ 運転免許証の写し(取得済みの方のみ)

(3)郵送の場合の提出先

〒910-8580 福井県福井市大手 3 丁目 17-1

福井県 未来創造部 未来戦略課 SDGs担当

TEL: 0776-20-0759 E-mail: fukui-sdgs@pref.fukui.lg.jp

※応募にあたって、事前に募集内容の確認等を行いたい場合は、お気軽に上記までお問合せください。電話、メール、オンライン面談等でご対応いたします。

10 選考方法

○ 第1次選考(書類審査)

- ・提出書類をもとに書類審査を行います。
- ・選考結果については、令和8年7月10日(火)までに応募者全員にメールまたは文書で通知します。

○ 第2次選考(面接審査)

- ・第1次選考合格者を対象に、福井県庁(福井県福井市)にて面接を行います。日程は7月中旬から下旬頃を目途に別途調整します。
- ・選考結果については、7月31日(金)までに第2次選考参加者全員にメールまたは文書で通知します。

※ 応募に係る経費(郵送料、交通費等)は応募者の自己負担となります。

※ 選考の経過および結果についてのお問合せには応じられません。

11 お問い合わせ先

(本件募集企画に関すること)

福井県 未来創造部 未来戦略課 SDGs担当

〒910-8580 福井県福井市大手 3 丁目 17-1

TEL: 0776-20-0759 E-mail: fukui-sdgs@pref.fukui.lg.jp

(地域おこし協力隊制度全般に関すること)

福井県 未来創造部 定住促進課 移住定住グループ

〒910-8580 福井県福井市大手 3 丁目 17-1

TEL: 0776-20-0387 E-mail: teiju@pref.fukui.lg.jp